

# ふるさと教育「くんねっぷ学」 ～訓子府に愛着を持ち、訓子府の未来を担える子を育てる取組～



学校	学校運営協議会	地域学校協働活動推進員等数 (赤字は内学校運営協議会委員数)	地域学校協働本部
訓子府町立 訓子府小学校	訓子府町学校運営協議会 平成31年4月1日 設置	地域学校協働活動推進員 0名 0名 地域コーディネーター 1名 0名	訓子府町地域学校協働本部
訓子府町立 居武士小学校	訓子府町学校運営協議会 平成31年4月1日 設置	地域学校協働活動推進員 0名 0名 地域コーディネーター 1名 0名	訓子府町地域学校協働本部
訓子府町立 訓子府中学校	訓子府町学校運営協議会 平成31年4月1日 設置	地域学校協働活動推進員 0名 0名 地域コーディネーター 1名 0名	訓子府町地域学校協働本部



## 取組の背景及び目標や目指す姿

### 背景

訓子府町では、乳幼児期からの一貫した子育て支援や教育ができる環境を生かし、幼小中切れ目のない学びの連続と支援の継続により、子どもの個性を伸ばし、自らの未来を切り拓いていくための資質・能力を身に付けていくことを目指している。また、各学校で地域資源を活用したふるさと教育を推進しており、コミュニティ・スクールの仕組みを活用し、全学的にふるさと教育の充実を図り、地域全体で訓子府の子どもの成長を支えるとともに、将来のまちづくりを担う人材の育成に取り組んでいる。

### 目標や目指す姿(学校)

訓子府に愛着を持ち、訓子府の未来を担える子の育成

### 目標や目指す姿(地域)

訓子府の未来を支える人づくり  
魅力ある持続可能なまちづくり



## 訓子府町学校運営協議会 の特徴

### 委員の立場や属性等

- |  |  |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> こども園・各小中学校保護者 | <input type="checkbox"/> 町内会連絡協議会        |
| <input type="checkbox"/> こども園・各小中学校評議員 | <input type="checkbox"/> 訓子府町商会          |
| <input type="checkbox"/> 園長・各小中学校長     | <input type="checkbox"/> JAきたみらい訓子府地区事務所 |
| <input type="checkbox"/> 訓子府高等学校長      | など、計 <b>18</b> 名で構成                      |
| <input type="checkbox"/> スクールサポーター     | 年間平均 <b>3</b> 回程度開催                      |

### 効果的な運営の工夫

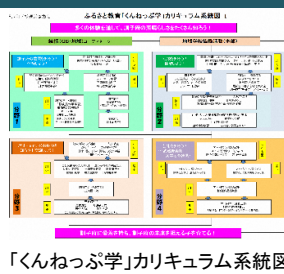
訓子府町認定こども園、訓子府小学校、居武士小学校、訓子府中学校で1つの学校運営協議会を設置することにより、訓子府町の目指す子どもの姿の実現に向けて町全体で目標や課題を共有し、認定こども園から小中学校までつながりのある教育活動を推進している。  
「こども園部会」「訓子府小学校部会」「居武士小学校部会」「訓子府中学校部会」を設置し、各学校の具体的な教育活動や地域との協働活動に関する協議を行っている。令和2年からは、訓子府高校との連携により「訓子府高校部会」も加え、認定こども園から高等学校までを見通した教育活動を学校と地域の協働で取り組んでいる。



## 特徴的な取組と成果・効果

### 学校運営協議会

全学的な取組としてのふるさと教育の推進に向けて、子ども達にふるさとへの愛着を育む「くんねっぷ学」について協議している。基幹産業である農業に関する学習を中心に、地域での活動とおして訓子府町の産業や歴史、文化・芸術等を学ぶ、こども園から高校までの一貫した「くんねっぷ学」カリキュラム系統図を作成した。



### 地域学校協働活動

町内企業や事業所等による教育活動サポート事業所制度「学校応援団」を整備し、企業等と連携して「くんねっぷ学」を推進している。将来のまちづくりを担う人材育成に向け、地域の多様な企業等が訓子府町の産業などを学ぶ機会を提供し、小学校の社会科、中学校の総合的な学習の時間等で実施する。



### 「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的実施」のための工夫等

ふるさと教育「くんねっぷ学」の取組が将来のまちづくりを担う人材の育成に向けて実効性のあるものとなるよう、町内企業や事業所等から学校運営協議会委員を選出して協議を行い、実施にあたっては、CSコーディネーターが教育活動サポート事業所制度「学校応援団」の募集を行うとともに、学校と企業等とのつなぎ役として関係者への協力依頼や連絡・調整等を行っている。令和3年度から、ふるさと教育「くんねっぷ学」の指導を行う教職員を対象に、訓子府町について理解を深めてもらう機会として「学校応援団・公共施設見学ツアー」を実施し、学校応援団としてふるさと教育に協力している企業や施設を訪問する機会を設けている。

## 取組

## 成果・効果

### 〔学校や参画する地域住民等の声〕

- ◆多様な地域企業等による学習機会の提供が組織的に行われ、教育課程の充実、特色ある学校づくりにつながっている。(学校)
- ◆「学校応援団・公共施設見学ツアー」に参加し、町の歴史や魅力を再確認することができた。子ども達に伝えたい。(教員)
- ◆北海道の農業の特色を凝縮したような訓子府町の優れた農業を学び、町の魅力を子ども達が探究できるようにしたい。(地域)
- ◆学校:こども園から高校までの一貫したふるさと教育の推進による幼小中高の連携、各学校における教育課程の充実と特色ある学校づくり
- ◆地域:地域企業等と連携したふるさと教育の推進による地域の未来を担う人づくり、魅力ある持続可能なまちづくり